

石造五輪塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうごりんとう
所在地	和気町田土
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	<p>貞治5年(1366)の造立。花崗岩製。総高1.55m。割石積みの二重基壇の上に立っている。各輪の四方に五大の種子[しゅじ]を薬研彫している。地輪の背は高く、水輪は美しい曲線で囲んだ球状をなし、火輪の軒は厚さ、4寸3分垂直に切り落とし、豪健な直反りをみせ、背は高めに造られている。風輪の三日月形、空輪の宝珠形ともに端正である。地輪南面の種子の両側には、右:「融通経衆 敬白」、左:「貞治5年丙午2月日」の銘文が刻まれている。かつて、長楽寺は杉沢山の頂上付近にあったが、現在は山麓の矢田に移っている。五輪塔は旧寺地境内に所在している。</p>
アクセス方法	
公開状況	外観のみ
設備	
備考	